

# 炊き出しボランティア通信 vol 6 6

2013, 2月



お世話になった教会のお姉さんや、日本語を勉強に来たフランス人青年と。  
今回は3人の参加になりましたが、頑張りました。あア、充実感。

## 炊きだし 2月9日(土)

9:00元寺小路教会に集合・準備。12:00五橋公園 炊き出し

顧問修学旅行で不在。1年生1個班が3人で参加してきました。

○先生がいなくて心配だったけれど皆で協力してやったら心配はどこかへ消えました。また来年なので、土曜日のことを忘れずに次回も頑張りたいです。(1年)



さし上げるセット品について打合せ中です。微妙ですが、これ全員スタッフです。



豚汁をたくさん入れてあげます。



サボって説教されてるんではありません。いちおう打合せ中です。



「ちょっと待って下さい。今サイズを見ますから」

○前回参加したときは春だったためか、前回と違う点なども少しあったり、初めて会う人などもいたりしてました。よかった点は集合時間に間に合ったこと、少ない人数なりに協力し、積極的にいろいろな仕事に取り組めたことです。反省点は、今回初めてまかされた靴の提供係の仕事で、自分たちがマイペースすぎて、プチケンカがおきてしまったことです。今回のように先生がいない場合でもきちんと自分たちでできるようにすべきことを把握しなくてはと思いました。今回のことでホームレスの人たちにとって靴はとても重要だと考えていることが分かったので、次回はホームレスの人たちの立場になってスムーズにできるようにしたいです。(1年)

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

## Sさん日記

1月29日(火) 16時 暖かな日 メディアックに寄った帰り路に、思い立って西公園へ足を向けた。道路側から眺めると、石碑裏のSさんは起きて何か食事をしている様子だった。空からはやわらかい日射しがふりそそいでいた。そののどかな様子に内心ほほ笑んで、車を横付け降りると、歩きだす前に異様な光景に釘付けとなった。石碑の周囲が野良猫とカラスの群れにおおわれていたからである。10匹に近い野良猫はどれもまるまると太っていた。隙あらば下に降りてこようと狙っているカラスの群れも、やはり共食いをしているのかと思うほどに太い。カラスは、弱りそうもない猫を狙っているのか、石碑の裏の住人を狙っているのかと思わせるほどに、不気味な構図をつくっていた。

「Sさん」声をかけにゆくと、ご本人はただいま食事真っ最中のことで忙しそうであった。周囲のことにはいっさい頓着していない。様子だった。「ごはん中ですか。いいですねえ」カセットコンロ上のフライパンには肉野菜がグツグツと音を立てて煮えており、それがいい

においをさせていた。「まあ、おいしそうですねえ」と言うと、ニコニコしている。おそらくそのにおいが、猫やカラスを刺激しているのだろうが、いっさい気にしている様子もない。Sさんはまるでこの周辺のあるじのようであった。

2月11日(月) 8時30分 コンビニでおむすびセットとホットと茶を用意して持参した。猫もカラスもなし。おやすみ中のSさんを起こした。先週(9日)の炊き出しに行ったこと、夜回りにはHさんが来たことなどを知り安心した。以前には毎回何度炊き出しへのお誘いをして、行きません、ひどい目にあったから、とばかりくり返してダメだったが。暖はとれるのかもしれない塀の中よりも、寒い列に並んで炊き出しをもらうことを選んでくれたと思いたい。

3月16日(土) 14時 家内に作ってもらったおむすび持ってメディアテークへ。不在。寝場所へ。ここも不在。肥えた野良猫が4匹土手でゴロゴロ日なたぼっこをしていた。

3月23日(土) 13時半 募金活動の帰り路、用意しておいたおむすびとホットと茶をシートの中へ置きに寄った。念のため「Sさん」と言う。するとシートが動き出して、手が出てきたのでびっくりした。「もうおやすみですか?」「ハイ」「おかわりは? 悪いところは?」「だいじょうぶです」「ではハイ」おむすびを押し込んだ。

2013/03/24 (Sun) 18:23